

上越市のJR高田駅近くにある料亭、長養館。元々は吉原屋という名で江戸時代に創業したという。高田城下の田端(現在の仲町3)に店を構え、1876年(明治9年)には「料理営業免許鑑札」が与えられ、料亭として営業していた。

## 上越の老舗企業

### 第9回 長養館



明治以来、寺町で営業する長養館

その後、店が手狭だったことから、庭を持ってもてなしをしたとして武家屋敷の跡地だった寺町の土地を購入。92年(明治25年)に現在の場所に移転した。「お客様に長く養っていただける店」を目指して長養館と名を改めた。

翌93年(明治26年)に開業式を行った。当時の客層は地主や地元官公庁の幹部らだったという。また1908年(明治41年)に旧陸軍第13師団が高田に入ると、上級軍人が利用するようになり店の上得意となった。太平洋戦争が始まると物資統制で食材が入りなくなり、43年(昭和18年)に料亭営業を一時停止。学徒動員により、直江津の工場で働く生徒の寮となった。

終戦を迎え、主な利用客だった軍人が消え、財産を持つ地主もいなくなり経営は苦しかった。47年(昭和22年)に旅館業の免許を取得して営業を再開。復興が進み高度経済成長になると、利用者が増えて再び宴席が

にぎわうようになった。

94年(平成6年)には寺町移転時から100年以上経過した建物を木造のまま改修。簡素な数寄屋建築にするなどして人がくつろいで料理を楽しみ空間にした。

90年代以降はバブル崩壊で大規模な宴会が減り、官接待もなくなった。代わって3世代に渡って訪れる客や、家族、友人での利用など新たな客層が現れた。社長を務める吉原耕一氏(55)は「個人的な祝い事など節目で訪れる人が増えている。そんな節目を彩るもてなしを続けたい」と話している。

#### 【会社概要】

- ▽創業 江戸時代。長養館の開業は1893年(明治26年)
- ▽住所 郵便番号943・0892 上越市寺町2・1・8
- ▽電話番号 025・523・5481
- ▽資本金 400万円
- ▽社長 吉原耕一
- ▽従業員 18人

※次回は22日掲載